

# 商店街の日常写す

2月8日〜22日、男山中央センター1商店街で、八幡支援学校高等部3年生5人が撮影した「商店街の日常写真展」が開かれました。

## 課外授業で写真展

八幡支援学校



この企画は、地域と連携してさまざまな職業や地域活動について学ぶ同校の課外授業の一環。

生徒は、居心地が良いが人通りが少ないという印象から、商店街の魅力伝える写真展を企画。男山中央センター商店街と男山地域のまちづくりに取り組みだんだんテラスの会の協力を得て、実施しました。

会場には、商店街の各店に足を運んで撮影した写真15点を展示。カウンターで笑顔を見せる飲食店を営む夫婦「写真」や、



お客さんと会話しながら働く容師の姿などが飾られ、地域住民は写真を眺めながら、なじみのある店の話などで盛り上がりつつありました。

生徒は「企画は大変だったけど楽しかった。写真展をきっかけに商店街のことを知ってほしい」と話していました。

▲展示を眺める地域住民ら

梅の生け花(華道部会共同作品)などが並ぶ会場



## まちの話題

このページでは、市民の皆さんの活躍やまちの話題などを紹介しています。身近な話題や、広報紙に「この」の意見を、秘書広報課までお寄せください。

## みんなで豆まき「鬼は外!」

### 八幡幼稚園で節分行事

2月3日の「節分」の日、八幡幼稚園で節分行事が行われ、3〜5歳児27人が元気いっぱいに豆まきを楽しみました。

同園では、園児が今年1年を元気に過ごせるよう願うとともに、伝統行事を知ってもらおうと毎年豆まきを行っています。

はじめに、園児は、節分行事の目的などの話を聞き、「怒りん坊鬼」や「泣き虫鬼」など、自分の中の悪い鬼も一緒に退治することを先生から教わりました。

その後、園庭に太鼓の音が「ドン、ドン」と鳴り響くと、「オー」と雄たけびをあげながら2匹の鬼が登場。追いかけてくる鬼に驚いて泣き出す園児もいましたが、みんなで勇気を出して立ち向かい、「鬼は外! 福は内!」の掛け声で豆をまいて鬼を追い払いました。

最後は、降参した鬼が園児のもとに歩み寄り仲直り。みんなで一緒に写真を撮り、笑顔で「さようなら」とあいさつをしてお別れしていました。



鬼に向かって豆をまく園児

## いけ花凛と麗しく

### 松花堂庭園・美術館で第20回展

文化協会華道部会の会員が生けた花が並ぶ「第20回松花堂いけ花展」が2月4日〜6日の3日間、松花堂美術館で開催。来場者約140人が趣向を凝らして生けられた作品を鑑賞しました。

同展は、文化協会華道部会と松花堂庭園・美術館の共催で毎年開催されており、今回で20回目を迎えました。

会場には同会に所属する8流派12人の作品が並び、入り口正面には同会共同で生けた

梅を展示。伏せた龍が天へ昇ろうとする姿が表現されており、その力強く伸びる枝ぶりに来場者たちは足を止めて見入っていました。

ほかにも、個性豊かな花器にツバキやカーネーションなどのさまざまな花が生けられ、会場は一早い春の雰囲気にも包まれていました。

宮田良子さん(70)は「皆さん立派に花を生けていて、春満開で元気が出ますね」と、こやかに話していました。

## 今月のこの人 CGアニメ 大賞受賞 京都国際マンガ・アニメ大賞2021



### 伊藤 瑞希さん

「京都国際マンガ・アニメ大賞2021」(主催「京都市など」)で大賞受賞。奈良県出身、八幡市在住。30歳。

才能あるクリエイターを発掘する「京都国際マンガ・アニメ大賞2021」で、伊藤さんのCGアニメ「高野交差点」が大賞を受賞。過去に映画「君の名は。」の新海誠監督もCGアニメ部門で受賞しており、伊藤さんは「いろんな人に知ってもらうきっかけになった」と笑顔を見せます。

CGアニメは専門学校に通う傍らで独学。卒業後、同校教員で「高野交差点」原案・脚本の中田秀人



©2021 Mizuki Ito

さんの誘いで制作を始めました。京都のとある交差点で見ず知らずの3人の物語が交わるストーリー。伊藤さんが作画・音響・編集を手掛け、「説明し過ぎると、短

編アニメだと何の余韻もない。最低限伝わる見せ方とのバランスを探った」と作品へのこだわりも。

現在は次作に向けて、構想を練っている伊藤さん。「40歳くらいまでに長めの作品を、こだわりぬいて、自分勝手に作りたい」と自らの表現を追求し、これからも制作を続けます。

※作品は右記のQRコードからYouTubeで視聴可。

